

箱根町行財政運営を考える町民会議

「町民会議に参加された感想と来年度の町民会議の進め方について」
アンケート集計結果

1 調査期間

平成29年3月15日(水)～3月28日(火)

2 回答結果

回答数 10 (回答率 66.6%)

質問項目	回答人数	回答項目数
問1 28年度の町民会議の感想	10	15
問2 29年度の進め方について	10	16
問3 結果のとりまとめ方について	8	8

3 集計結果

別紙のとおり

箱根町行財政運営を考える町民会議

「町民会議に参加された感想と来年度の町民会議の進め方について」のアンケート集計結果
平成29年4月

問1 今年度の町民会議に参加されたご意見・ご感想等をご記入ください。

区 分	回 答 一 覧
町民会議 に対する 意 見	町民会議自体は非常に有意義だとは思いますが、意見や提案が全く反映する事なく意見交換の場だけとなってしまっているのが残念でなりません。前回会議でも話したとおり、町民会議として何か一つでも提案が実現させるような会議であってほしいです。
	行財政のような大きなテーマで地域、組織を越えて横断的に町民・事業者が話し合いをできる仕組みは大変意義があり、様々な想いを理解できる場所であると考えています。一方で構成上やむを得ない部分ではありますが、組織の充て職であられる方も多いため、自由な議論を求めるには、難がある会議であるとも感じています。
	各種団体の委員構成により意見の述べにくい面がある。
	意見はいろいろ出るが実現可能とは思えず、ただ意見を言うだけで終わりになってしまうそう。
	固定資産税の超過課税の税率の見直しの審議により、財政再建と持続的発展についてオール箱根で議論する場の要望からこの会議が設置された事は理解するが、行財政の課題、観光立町を基本とするまちづくりのミクロ的姿は見えるがマクロ的将来像が見えない。
	町側がこの会議に何を求めているのか分からないです。ただのガス抜きと考えているのでしょうか。 若干細かいと感じる点もあった。
町の説明 に対する 意 見	それぞれの専門分野のご意見を理解できない点もありますが、町の財政状況が逼迫していることを改めて認識致しました。
	財政の仕組みや、経済循環の現実などをわかりやすく解説され、基礎ができてきていると思います。充実した一年であったと思います。
	町側が提出して頂いた予算や決算の資料では分からない部分が沢山あり、非常に参考になりました。
	議論に出た事項につき、資料が配布され参考になった。
	色々な団体の方々のお話を聞いて、町内の色々な問題を知ることができました。 今年度は現状把握が主であったと感じた。
町民会議 に参加 した感想	私は団体の代表として参加致しました。固定資産税税率見直しとふるさと納税のしくみ等を詳しく知りたいと思い安易な考えで委員になりましたが、町の行財政運営に対してあまり分かりません。女性の立場から細かい一般的な事しか云えません。他の委員の方々は皆様素晴らしいです。皆様の意見、発言を聞き勉強させていただきたいと思います。
	私は団体の推薦を受け、会議のメンバーとなっている。特に高齢化が著しい。今後は所属する団体の意見も聴取して会議で発言するようにしたい。

問2 来年度（平成29年度）の町民会議の進め方について、ご意見・ご希望・ご提案等がありましたらご記入ください。

（既に挙がっている3つのテーマの取り上げ方、会議の運営方法、会議で取り上げるべき議題・テーマなど、どのような内容でも結構です。）

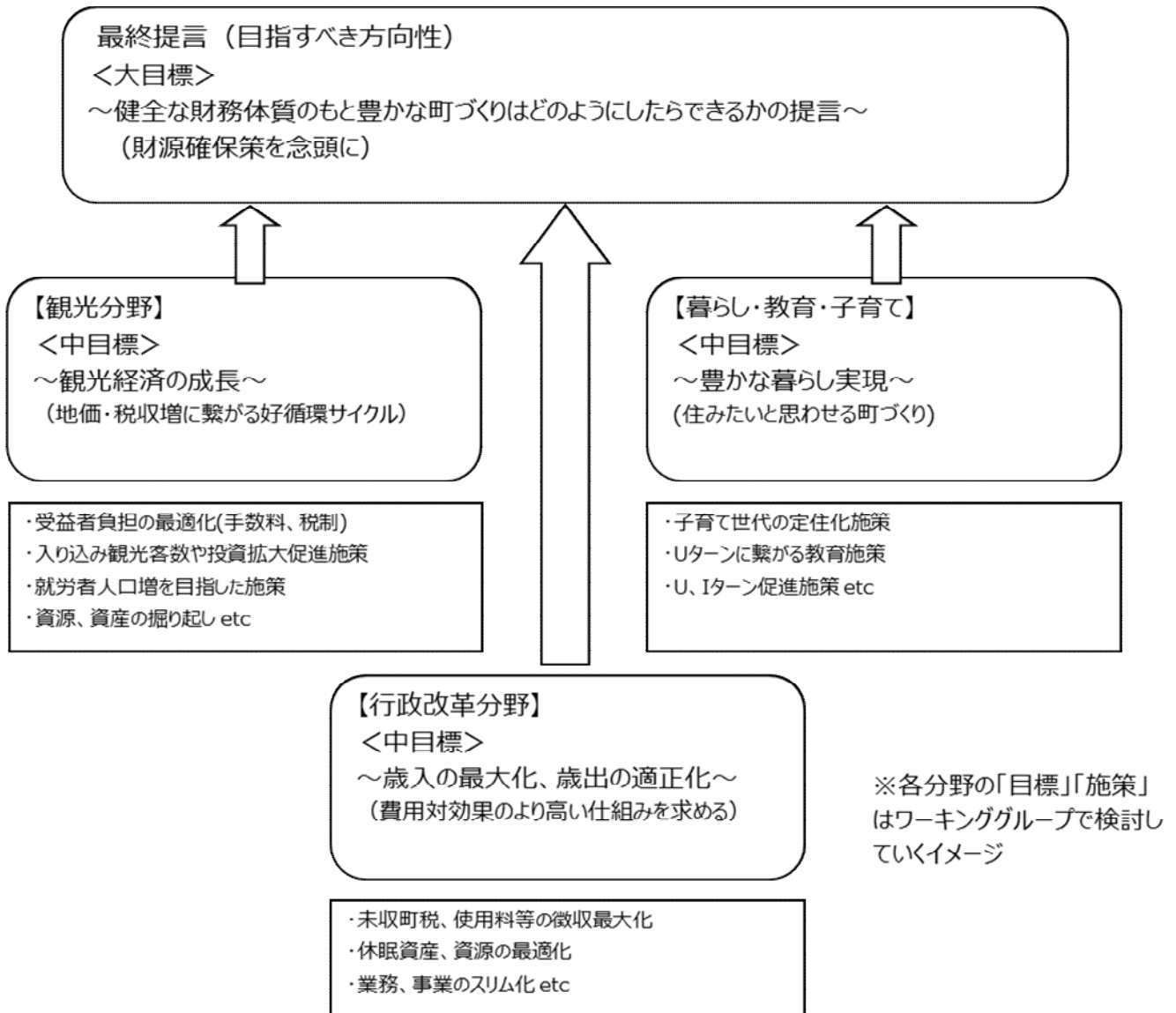
区 分	回 答 一 覧
会議の進め方	<p>これまでの進め方では、一つの議題に深く議論する事が不可能である為、各分野別に（観光、教育等）議論していく必要があると思います。それでも年4回程度の会議では、一つの提案に絞って実行に移せる状態へ持って行くのは難しいと思います。</p>
	<p>議論の手法としてファンリテーターの方のバランスをとった進め方は、安定性はあるものの、活発な意見交換という点では物足りなさを感じています。議論を絵空事にせず、町民、事業者が本件、本会議を今後も自分事としていくことが肝要であり、その点ではとりまとめの方向性を明確にし、さらなる意見聴取方法を考える必要があると考えます。具体的にはテーマごとに細分化したワーキンググループなどを本会議の他に開催（自由参加？）し、その進行も参加者に委ねるような方法も考えられます。どちらにしても、コストカットに終始する議論は、既に行政改革アクションプランでも取り組まれており、わざわざこのメンバーでするまでもなく、財政難を念頭に置いた状態で「どのような町にしたいか」「どのような町に住みたいか」、「その町にするにはどうしたらいいか」等、高所、総論においた前向きな議論をしていくことを強く望みます。</p>
	<p>この一年間で各種提案がされたが、行財政改革アクションプランに上げていない提案もある。これらをジャンル別に分類し議論する一方、掲載されている項目でも進捗していない重要項目をどうすれば推進できるか議論すればと思う。</p>
	<p>当町は大きく別けて5ブロックになっており、それぞれ特色がある。ブロックを3つ位に分け議論することも。</p>
	<p>安定的な行財政運営のための検討について、どの程度であるか、具体性等整理がついていません。方針を示すことで良いのか、具体策まで提示するのか。長期視野に立つのか、短期視野で良しとするのか等々。</p>
	<p>皆様お忙しいとは存じますが、本年度の会議の回数が少なかった気がします。毎日話が中途半端で終わってしまっていると思います。</p>
3つのテーマの取り上げ方	<p>「住みよいまちづくり」について具体的な意見の交換。 「観光のまちづくり」について実現可能な事項をもっと協議する。 「住みよいまちづくり」から「行財政改革」に戻り、「稼ぐこと」と「削減すること」を徹底的に議論し、町民会議の成果としたい。</p>
取り上げるべき課題・テーマ	<p>財源の確保の一つとして地方創生特区事業の検討。 先日小田原～湯本間が2時間15分かかりました。これは湯本駅付近の混雑が原因と思います。交通渋滞の緩和を徹底して取り上げて下さい。 渋滞を何とかして欲しい。このままの状態でもいいのでしょうか。箱根の観光にみえて、渋滞に時間をとられたら、とても残念です。何とか良い案がないのでしょうか。町民の皆様の良いアイデアを募集してみたらどうでしょうか。</p>

区 分	回 答 一 覧
取り上げる べき課題 ・テーマ	南箱道路について詳しい説明が欲しいです。
	第6次総合計画と施設配置・財政面で連携する各計画につき、内容や位置付け等を説明してもらいたい。
	現時点で町が懸念・課題としている事項について説明してもらいたい。
	箱根町女性のおもてなし。駅及びバス停等に女性のおもてなしのボランティアを募りたい。観光客の方が下車の折、さあ、どうやって行くのか困っていられる時がある。ぜひ案内をしてあげたい。

問3 町民会議の審議内容や結果のとりまとめ方につきまして、ご意見・ご希望・ご提案等がありましたらご記入ください。

区 分	回 答 一 覧
とりまとめ 方 法	結果的に議論された事は、報告又は、意見書として提出した方が良い。
	成果については町に対して何らかの形で上申する必要があるかと思えます。
	「答申」まで行かなくとも「提言」はした方が良い。
	難しいとは思いますが、何かを提言をすることが大事だと思います。
	行財政改革、観光、子育て・教育・暮らしという観点を整理できたことは大きな成果と考えます。一方で我々がしてしまいがちな議論がその各論にあり、これではいつまでも結論のない議論を続けてしまう可能性もあります。これらの立ち位置を別紙【P4参照】のように細分化し、議論の最終地点(大目標)の下に、それぞれの分野を位置づけることで、大目標、または中目標に合致しない議論をなくすことができ、より明確な事業成果＝提言ができると考えます。提言のような最終成果物がない議論は、行政における拘束力もなくただのガス抜きとも評価されてしまう恐れもあります。財政難に端を発した様々な懸念、懸案は、単年度の予算編成のためでもなく、中・長期的に根本的に解決される必要があります。また、本年度の施政方針でも町民会議への言及もあるため、町民会議としての提言のとりまとめを強く望みます。
会議の 継 続	会議の趣旨としては非常に有意義だと思いますし、形だけで終わらせたくないの、2年で区切らず長く続けていく必要があると思えます。
	結論・取りまとめ・報告で終了とせず、議論を継続する場も必要でないかと考える。

問3（別紙）とりまとめ方法のイメージ



大目標を実現するために、各分野で中目標を設定し、さらにそれを実現するための施策を検討することで、比較的皆興味のある各論も提言に盛り込める。ただし、施策はあくまで大または中の目標達成のためのものに限ることで、議論の一定の集約を図る。（目指すべき方向性を先に定めることが極めて重要）